



2020年10月14日

各位

会社名 協立情報通信株式会社
代表者名 代表取締役社長 佐々木 茂則
(JASDAQ・コード 3670)
問い合わせ先 管理部 経理グループ長 蘆刈 正孝
(電話 03-3434-3141)

2021年2月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、現在の経営環境等の変化を踏まえ、2020年7月10日に公表しました2021年2月期（2020年3月1日～2021年2月28日）の連結業績予想を以下のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想数値の修正（2020年3月1日～2021年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想（A）	未定	未定	未定	未定	未定
今回修正予想（B）	4,700	180	200	120	102.70
増減額（B－A）	—	—	—	—	
増減率（％）	—	—	—	—	
（参考）前期実績 （2020年2月期）	5,583	247	255	172	144.54

2. 修正の理由

新型コロナウイルス感染拡大による、当社グループを取り巻く関連業界の大きな環境の変化に伴い、2020年7月10日にて適正かつ合理的な算定が困難であることから連結業績予想を一旦取り下げ、未定とさせていただきますが、現時点で入手可能な情報に基づき算定し、公表することといたしました。

ソリューション事業においては、コロナ禍の影響により企業の投資姿勢の慎重化が残りますが、一方では当初感染対策、BCP対応として導入の進んだテレワーク関連商材が、新たなニューノーマルとしてオンラインシフトの定着化を後押ししております。パートナー企業との連携を強化し、新たなソリューションの開発も含め、情報活用提案を中心として活動してまいります。

モバイル事業においては、コロナ禍における消費行動の変化から、実店舗からオンラインでのサービス提供を推奨する気運が残り、今後長期にわたり来店数の減少傾向が続くものと思われまます。そのため、ソリューション事業との連携による店舗への集客強化や店舗スタッフのスキルアップを実施するとともに、堅調な法人事業へのさらなる活動強化に注力してまいります。

以上より、連結業績予想を上記の通り修正するものであります。

（注）上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上